

## エキストラバージンオリーブオイルにおけるIOC規格等の

### 受託試験開始のご案内

国際オリーブ協会(International Olive Council)(以下「IOC」という)によるエキストラバージンオリーブオイルのIOC規格等に基づく官能評価及び理化学試験の受託試験を2024年2月1日より開始させていただきました。

また、官能評価の受託試験につきましては、IOCより認証を受けたパネルによる評価とは別にIOCに登録するパネルの中より当協会のみのでいスターによってIOC法に準拠した官能評価(簡易法)も受託試験として承ります。

IOC法に準拠した官能評価(簡易法)は、自社の品質管理としてご利用ください。

試験項目等は下記になりますが、詳細についてはお問い合わせください。

	試験項目	試験方法	試験法概要	試験期間(目安)	
オリブオイルのIOC規格試験等	官能評価(簡易法)	IOC法に準拠した日本油脂検査協会法	(Fruity/Bitter/Pungent+Defect)	10営業日	
	官能評価	IOC法	(Fruity/Bitter/Pungent+Defect)	1ヶ月程度	
	酸度	IOC法(基礎試験)	クロロホルム	10営業日	
	過酸化価				
	水分及び揮発性物質				
	不溶性不純物質(石油エーテル不溶分)				
	紫外線吸光度 K <sub>232</sub> K <sub>270</sub> ΔK				分光光度計
	官能評価(IOC) + 基礎試験を同時依頼				
	脂肪酸組成 (C14:0、C16:0、C16:1、C17:0、C17:1、 C17:1、C18:0、C18:1 n-9、C18:2 n-6、 C18:3 n-3、C20:0、C20:1、C22:0、C24:0)				IOC法(高度な試験)
	トランス脂肪酸 トランス-オレイン酸 トランス-リノール酸及びリレン酸				
	テ <sup>+</sup> ス <sup>+</sup> メチルステロール組成 (コレステロール、プレ <sup>+</sup> シカステロール、カン <sup>+</sup> ステロール スティ <sup>+</sup> グ <sup>+</sup> マステロール、Δ-7-スティ <sup>+</sup> グ <sup>+</sup> マステロール、 見かけ上のβ-シ <sup>+</sup> ステロール、エリス <sup>+</sup> ロ <sup>+</sup> ジ <sup>+</sup> オール及び <sup>+</sup> ビ <sup>+</sup> ウ <sup>+</sup> オール)				
	総ステロール含量				
	ワックス含量 C42+44+46	コールド <sup>+</sup> オン <sup>+</sup> カラム付GC法(FID検出器)			
	ECN-42 TGの実際値と理論値との最大差	HPLC法(示 <sup>+</sup> 唆 <sup>+</sup> 屈 <sup>+</sup> 折 <sup>+</sup> 検 <sup>+</sup> 出 <sup>+</sup> 器)			
	スティ <sup>+</sup> グ <sup>+</sup> マスタ <sup>+</sup> ジ <sup>+</sup> エン含量	GC法(FID検出器)			
	2- <sup>+</sup> グ <sup>+</sup> リセ <sup>+</sup> リ <sup>+</sup> ル <sup>+</sup> モノ <sup>+</sup> ハ <sup>+</sup> ル <sup>+</sup> ミ <sup>+</sup> テ <sup>+</sup> ト	コールド <sup>+</sup> オン <sup>+</sup> カラム付GC法(FID検出器)			
	不けん化物				
	脂肪酸エチルエステル含量	コールド <sup>+</sup> オン <sup>+</sup> カラム付GC法(FID検出器)			
	官能評価(IOC) + 高度な試験を同時依頼	IOC法			
	基礎試験 + 高度な試験を同時依頼				
官能評価(IOC) + 基礎試験 + 高度な試験を同時依頼					
その他	フェノール化合物含量	IOC法			